

スリランカでウミガメ保護

1. 活動時期

2025年7月14日～7月26日

2. 利用したエージェント名

Project Abroad

高校2年 岩谷 杏

3. 活動の概要

私たちは主に午前中にウミガメ保護センターへ行ってウミガメの保護活動を、午後は昼食後に寺院へ行ったり、プールやショッピングへ行ったりしました。保護センターでの活動はグループ制で毎日異なつており、ウミガメの水槽の清掃やペインティング、海水の補給、ウミガメに与える餌の準備、ウミガメの甲羅の掃除などを行いました。

また、午後の活動として他にもスリランカの伝統的なダンスの講座を受けたり、女学校を訪れてグループでウミガメのプレゼンを行いました。週末には一泊二日でキャンディを訪れ、ハーブ園やお茶の工場で茶葉の加工工程を学んだり、ファイヤーショーを見たり、仏歯寺を訪れ仏教文化に直接ふれるなどの様々な体験をしました。



4. 感想

この活動には合計26人が参加しており、そのほとんどの高校生がイギリスやフランス、イス出身でした。そのため、グループで活動するときや発表の準備をするときなどに自分の意見などを思うように伝えらなかつたり、みんなが話して内容がわからずもどかしく感じたことが何度かありましたが、その時にはわからないままにせず、スタッフや周りの人になっかりと聞くことを心がけました。

また、最終日にウミガメの赤ちゃんを海に放流を行ったことが私の一番記憶に残っている活動です。一人一匹ずつ赤ちゃんのウミガメを海から20メートルほど離れたところから放ちます。目の前に広がる雄大な海に向かって懸命に歩んでいく小さな赤ちゃんのウミガメの姿に感動するとともに、環境保護の重要性を再認識させられました。スリランカでの生活は日本と違いゆったりしていました。伝えられた時間より一時間遅くバスが到着したり、その日の活動が予定と異なっていたり、カレーがすごく辛かったりと文化の違いをたくさん感じましたが、スリランカの人はみんなすごく優しく日本語を話せる人も多くいました。新しい文化に触れたり雄大な自然を肌で感じたりと記憶に残る経験をたくさんすることができました。

5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

新しい刺激を受けたり、様々な国の人と関わってみたいと思っている人はぜひ参加してみてください！

